

医学部学生や若手医師に、私がよくする質問をご紹介します。

「最も診断が易しい病態は？」

——答えは「心肺停止」。病態が重くなるほど診断はたやすくなるものです。医師によって判断が異なることも通常ありません。直ちに治療を行う必要があることは言うまでもありません。

「最も診断が難しいのは？」

——答えは「健康」。異常なし、心配なしの太鼓判を押すことは容易ではありません。医師によって意見が分かれることも日常茶飯事です。病気を見逃すことを危惧するあまり、判定を先送りし、大事を取っての経過観察、検査が行われることも珍しくありません。

「最も有効な治療法は？」

——答えは「先制」。一見、健康と思われる段階で早期介入することが、最も有効で安全な治療法です。重大な病態に至らせないことが最善であり、そして最も難しい医療でもあります。

さて、今月は特集で「学校心臓検診」を取り上げました。重い症状を呈する重篤な心疾患のお話ではありません。気付かれずにいた先天性心疾患や不整脈発作を起こし得る基礎疾患を、できるだけ早く発見しようとする小児保健事業の話題です。いずれも、一般小児科医にとって馴染み深い疾患です。「専門外なので」と、すべてを専門家任せにするわけにもいきません。

冒頭で鮎澤先生がはっきりと述べておられます。検診で問題が指摘された場合、経過を観察するだけでよい軽微な所見なのか、管理区分によって日常生活に踏み込む必要があるのか、あるいは、ただちに治療が必要な深刻な事態なのか。次のステップが「運命の分かれ道」と言えます。ご本人も、ご家族も、不安な気持ちで医師の判断を待ち、その説明に聞き入るはずで

健康上の重大な岐路に立っているかもしれない子どもたちの将来を守るために、「最初の一步」を指し示すことは小児科医の使命です。今回の特集が、「最も難しい医療」を日々、提供しておられる皆さんのお役に立てばと願っております。
(高橋 孝雄)

編集：中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC 順）

小児科

第 66 巻 第 5 号 5 月号

2025 年 5 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 49,500 円（本体 45,000 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165〔雑誌部直通〕

Tel 03-3811-7184〔営業部直通〕

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03-3637-0005

広告申込先 株式会社文京メディカル Tel 03-3817-8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。